

ウォータークーラーで、冷たく安全な水を！

初夏に向かって少しずつ暑くなる中、外出して飲食店や商業施設のフードコートを利用する機会も増えてきました。その際、提供される水が冷たいと、何となくホッとしませんか。その水を冷やしているのはウォータークーラー（冷水器）です。

ウォータークーラーには、床置き型（長方形の箱型）でペダルを踏み直接水を飲む装置や、卓上据え付け型でレバーをコップで押し、水を汲んで飲む装置などがあります。いずれも水道管と直結して装置内のタンクに水を貯めて冷やすタイプが主流です。

ところで、『ウォータークーラーの水は衛生的に大丈夫？』と思われる方が多いかもしれません。安全な水を提供するために、装置のメンテナンス（清掃）が求められています。定期的に内部の洗浄や部品交換などを行うことが肝要で、最近では、自動で内部洗浄をする機能が付いた装置もあります。

もしも、清掃を怠ると…、提供した水に「浮遊物がある」「変な臭いがする」といったクレームを受けるだけでなく、健康被害の一因となってしまうかもしれません。

飲食店や商業施設の衛生担当の皆様、これからお客様が増えていくと思います。定期的な清掃で『その水、大丈夫ですよ!』と言えるよう、水質検査をしてみませんか？

当技術研究所でも、ウォータークーラーについて一般細菌、大腸菌、濁度、有機物等の水質検査（「水道法9項目や飲用適否の10項目、11項目」）を承っております。ぜひご活用ください。